

事務事業名		馬門町地内水路改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	河川係		担当課長名	青木 茂良
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11278	一般	8	3	1	馬門町地内水路改修事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		実施方法	
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H26年度～H31年度		根拠法令等	佐野市公共物管理条例					
	事業区分		実施方法		事業分類		施設等整備事業		リーディングプロジェクト		該当なし
	事業区分		市長マニフェスト		該当なし		該当なし		該当なし		該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・馬門町地内水路は上下流が整備され、未整備となっている区間において頻発している浸水等の水害を解消するために、流下断面を大きくする水路改修工事を実施する。 水路改修延長: 810m U型水路 1200×1200 L=700m Boxカルバート 1200×1200 L=110m 総事業費 300,000千円			用地測量 L=510m 設計業務 L=240m 地質調査業務 2箇所							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			水路改修が済んだ水路延長	m		0	110	175	175	
			今年度の河川改修延長	m		0	110	285	460	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・馬門町地内水路			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			水路の改修計画延長	m		810	810	810	810	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
・馬門町地内水路の現況河道を拡幅する水路改修工事により、台風や集中豪雨による出水に対して水害のない水路にする。			馬門町地内水路の整備率	%		0	13.5	35.2	56.8	
④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)										
・住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進する。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			雨水幹線の整備延長	m	15,532	15,802	16,052	16,302	16,602	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円					54,500		48,600		47,900	
	その他	千円										
	一般財源	千円			6,917		3,606		2,606		2,616	
	事業費計(A)	千円		0	6,917		58,106		51,206		50,516	
	事業費の内訳	千円	11.需用費	5	459	11.需用費	508	11.需用費	519			
			13.委託料	6,912	12.役務費	459	12.役務費	20	12.役務費	58		
					13.委託料	8,200	14.使用料及び賃借料	108	14.使用料及び賃借料	108		
					14.使用料及び賃借料	90	15.工事請負費	49,000	15.工事請負費	49,000		
				15.工事請負費	48,000	17.公有財産購入費	570	22.補償・補填及び賠償金	800			
				17.公有財産購入費	400	22.補償・補填及び賠償金	1,000	27.公課費	31			
				22.補償・補填及び賠償金	460	27.公課費	38					
人件費	人		3		3		3		3			
のべ業務時間	時間		1,186		1,186		1,186		1,186			
人件費計(B)	千円		0	4,674		4,674		4,674		4,674		
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	11,591		62,780		55,880		55,190		

事務事業名	馬門町地内水路改修事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・区域のすぐ上流は佐野南部土地区画整理事業により水路整備が完了しており、宅地化の急激な進行により現況水路の流下能力を超えた雨水の流出を招いて度々氾濫を起こしている。さらに、東部6号雨水幹線改修事業により下流部の拡幅改修が行われたことから、本区間の改修が強く求められている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・本河川の上流に位置する佐野南部土地区画整理事業区域の宅地化が急激に進んでいることから、未改修河川の氾濫頻度が増えている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・平成22年度議会(6月議会)において質問があり、流末の整備(東部6号雨水幹線)の状況を見ながら改修工事を実施していくと回答している。 ・大雨の度にパトロールを実施し、年に数回は道路冠水となるため通行止めとなり、市民からいつまでたっても改善されないと苦情を言われる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・水路改修工事により水害が防止でき、市民の生命財産を災害(火災、地震、水害、土砂災害等)から守ることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・水路の水害を防止し、市民の生命財産を守ることは、河川管理者の重要な責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・河川管理者として、水害を防止する目的で水路の改修事業を実施していくものであり対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・この事業は水路の流下能力を向上するために実施する事業であり、その進捗率を成果指標として設定した。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・最低限度の人員配置で実施するもので、人件費削減の余地は無い。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	・本事業は水路そのものが原因となる水害を未然に防止するための事業で、特定の受益者はいない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	・水路の整備L=810mが完了したとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					